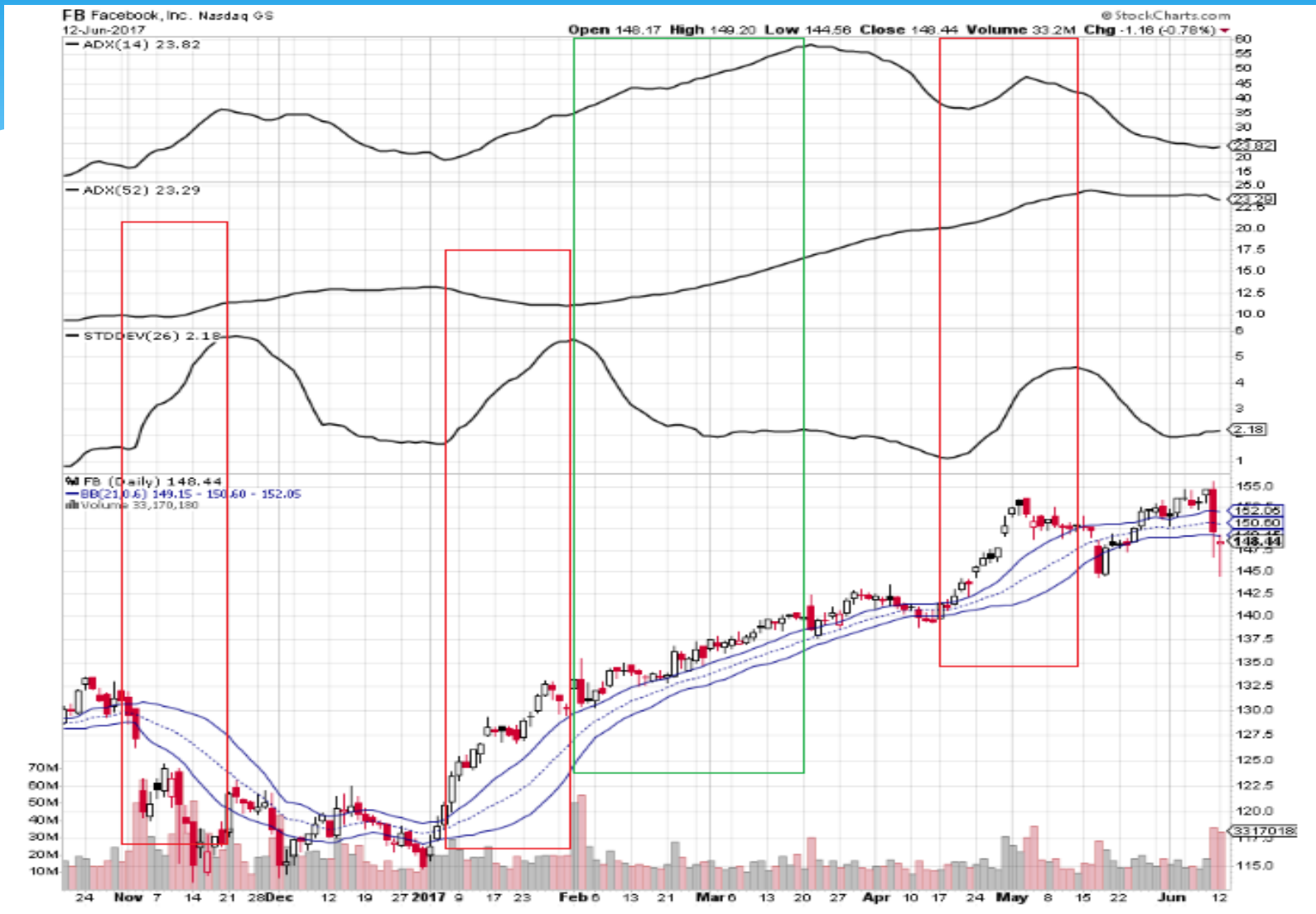


# キラメキの発想

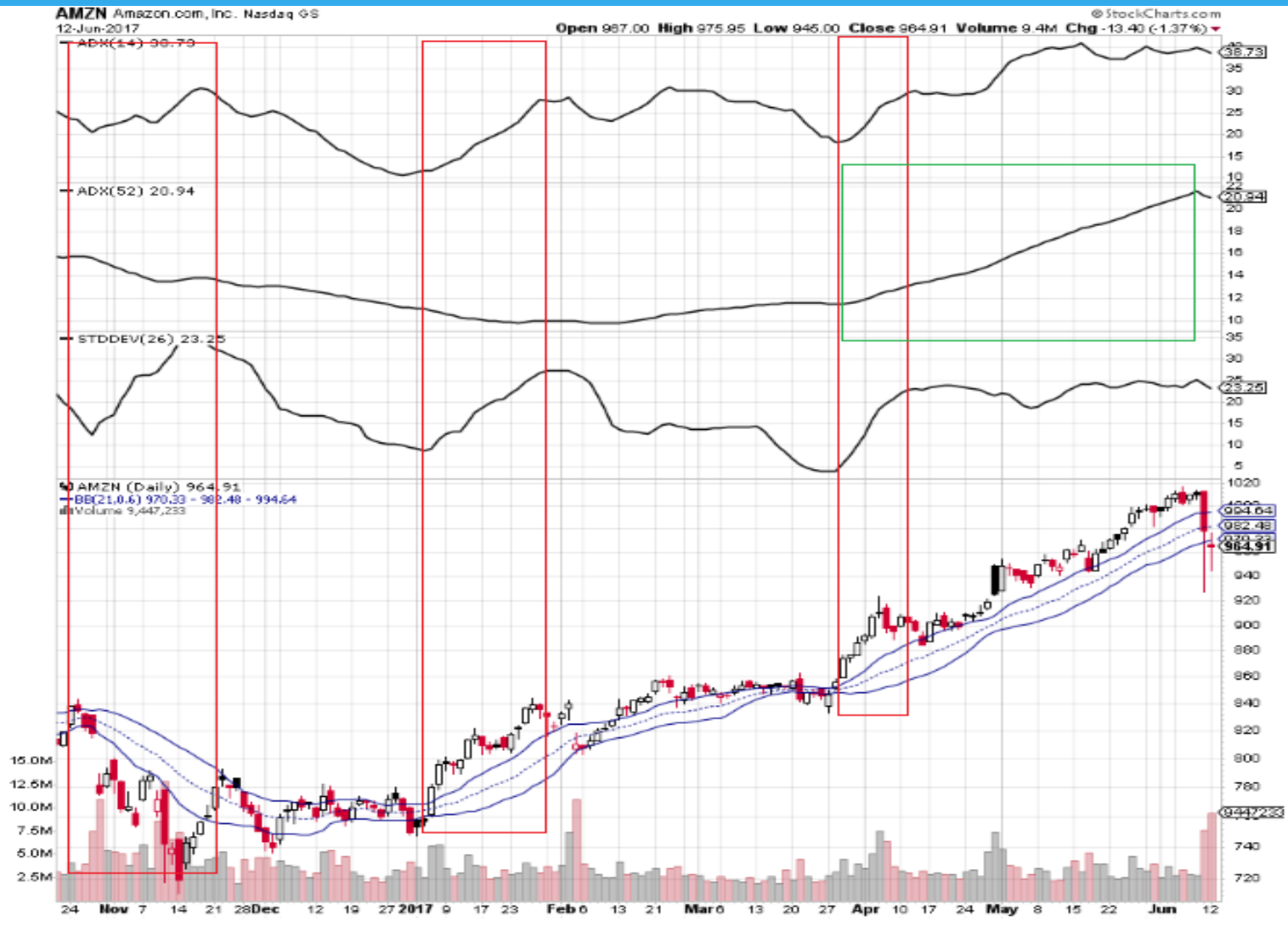
## 2017年6月13日番組資料

石原順

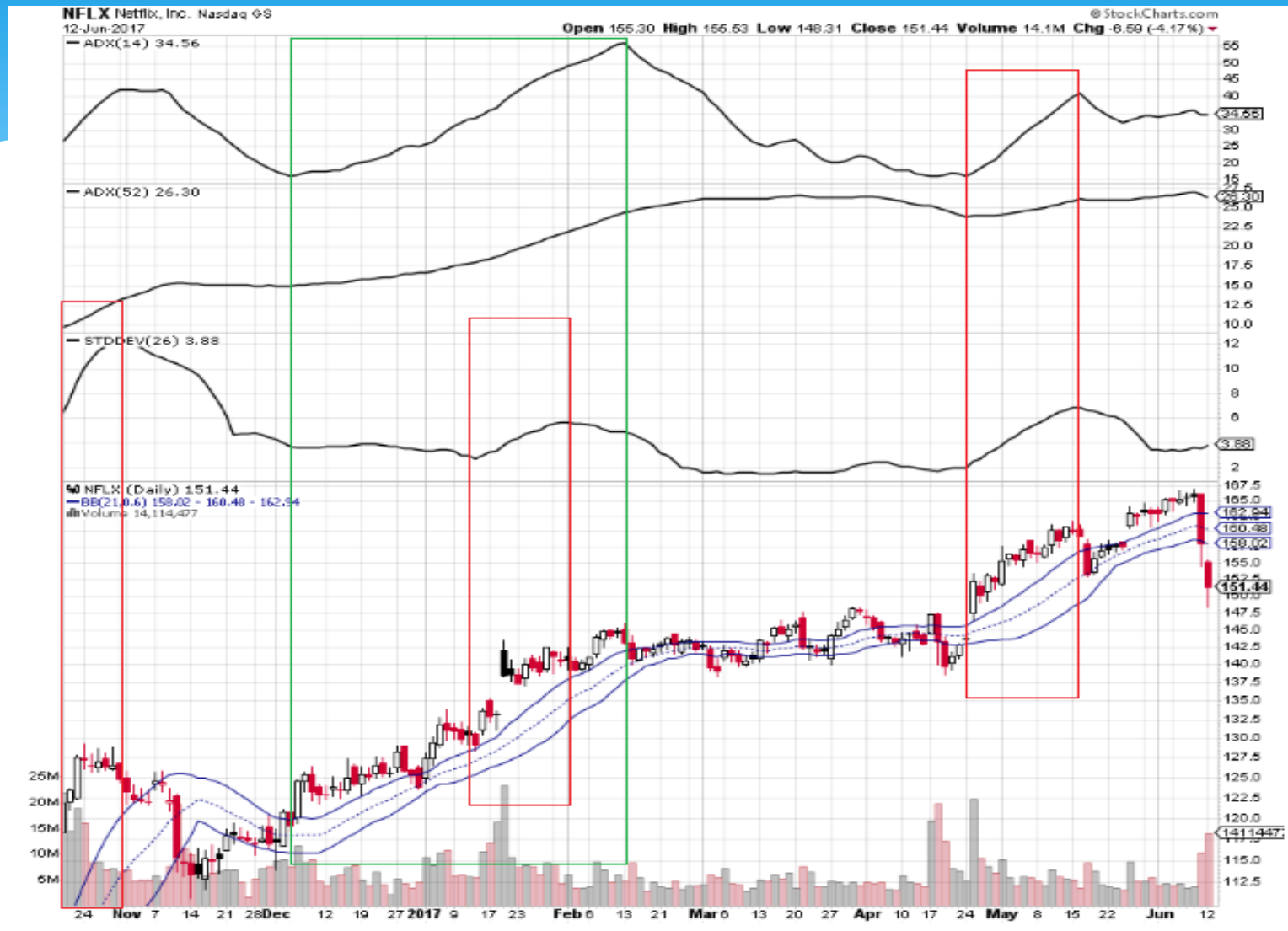
# フェイスブック (日足)



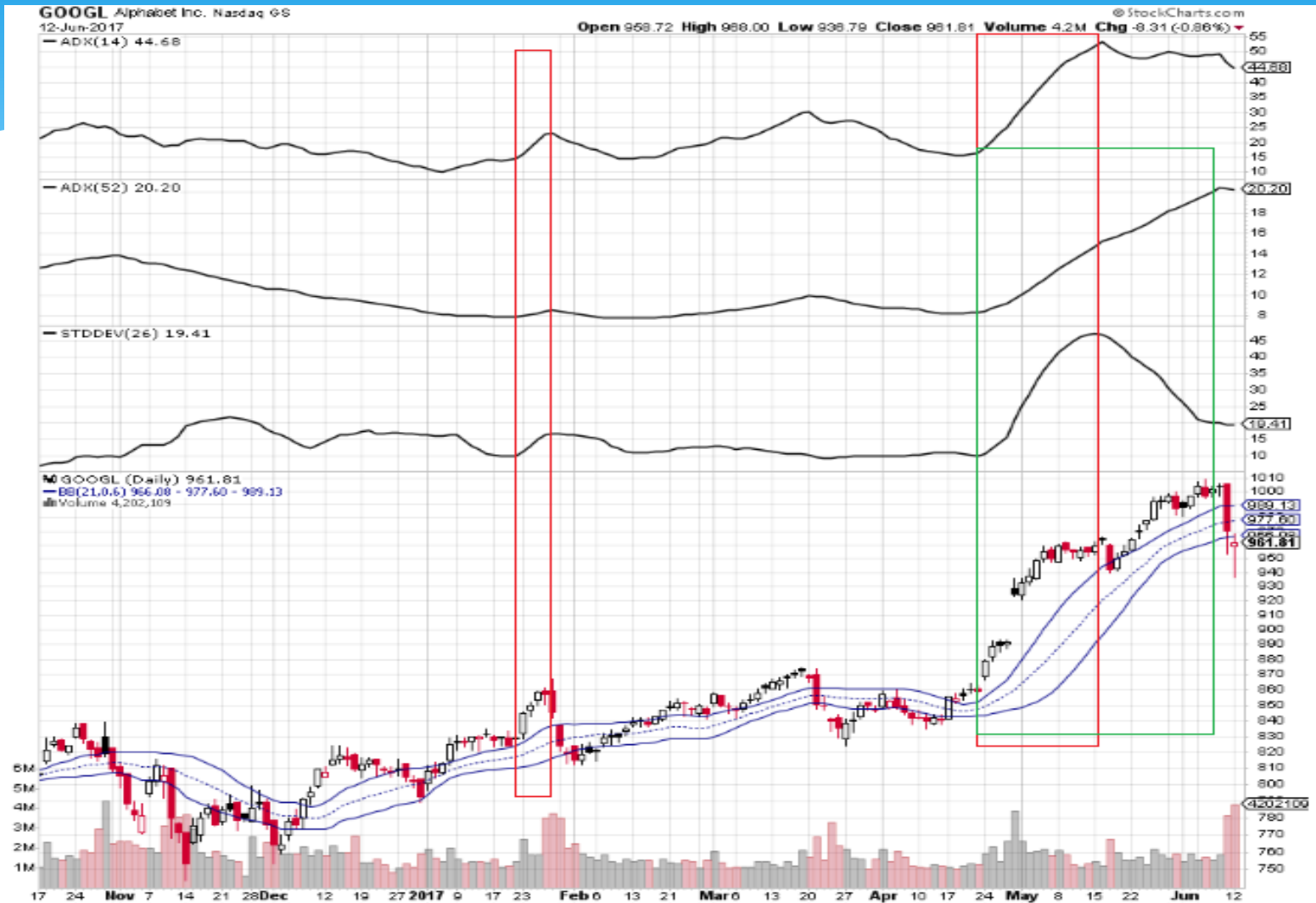
# アマゾン (日足)



# ネットフリックス (日足)

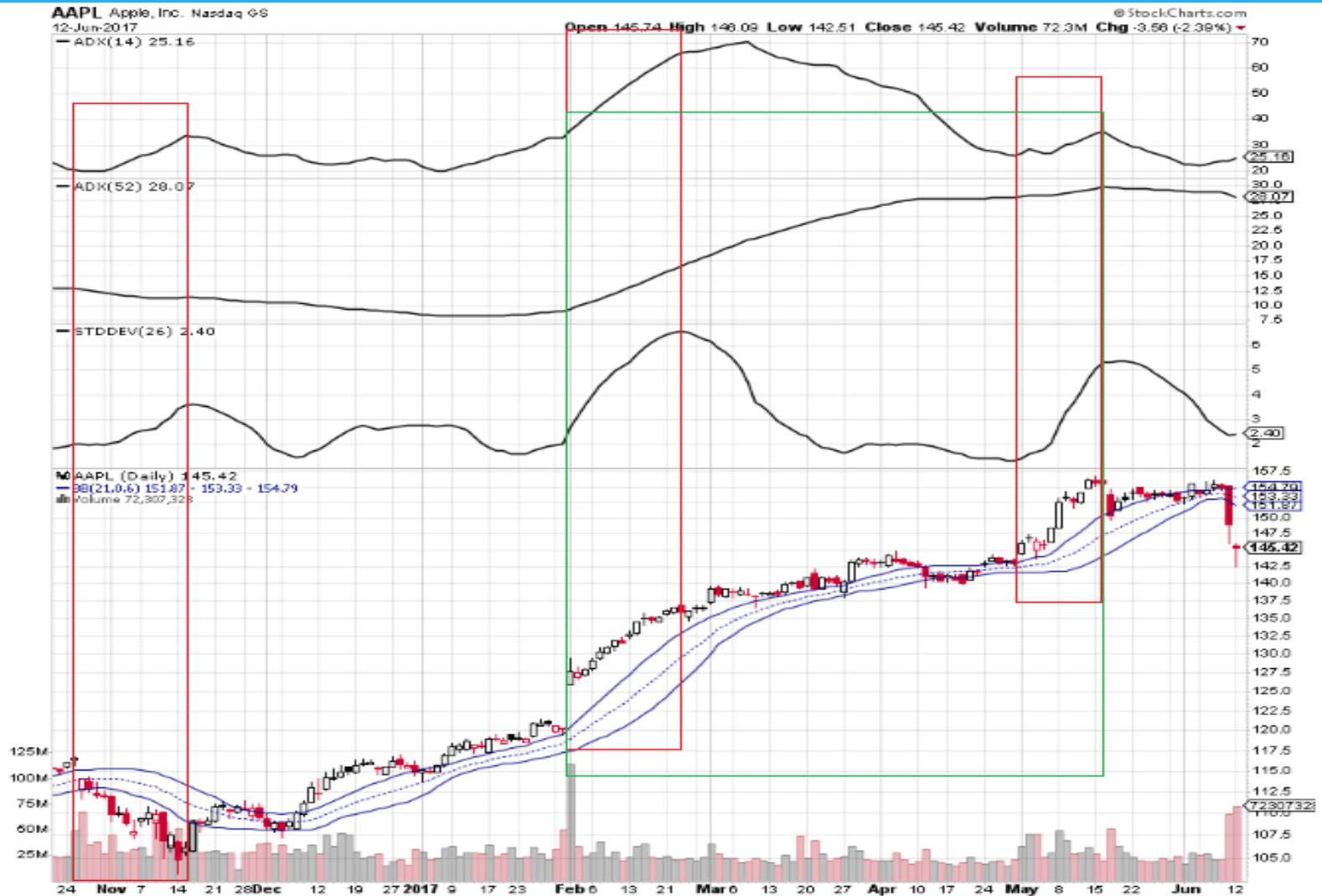


# アルファベット (日足)

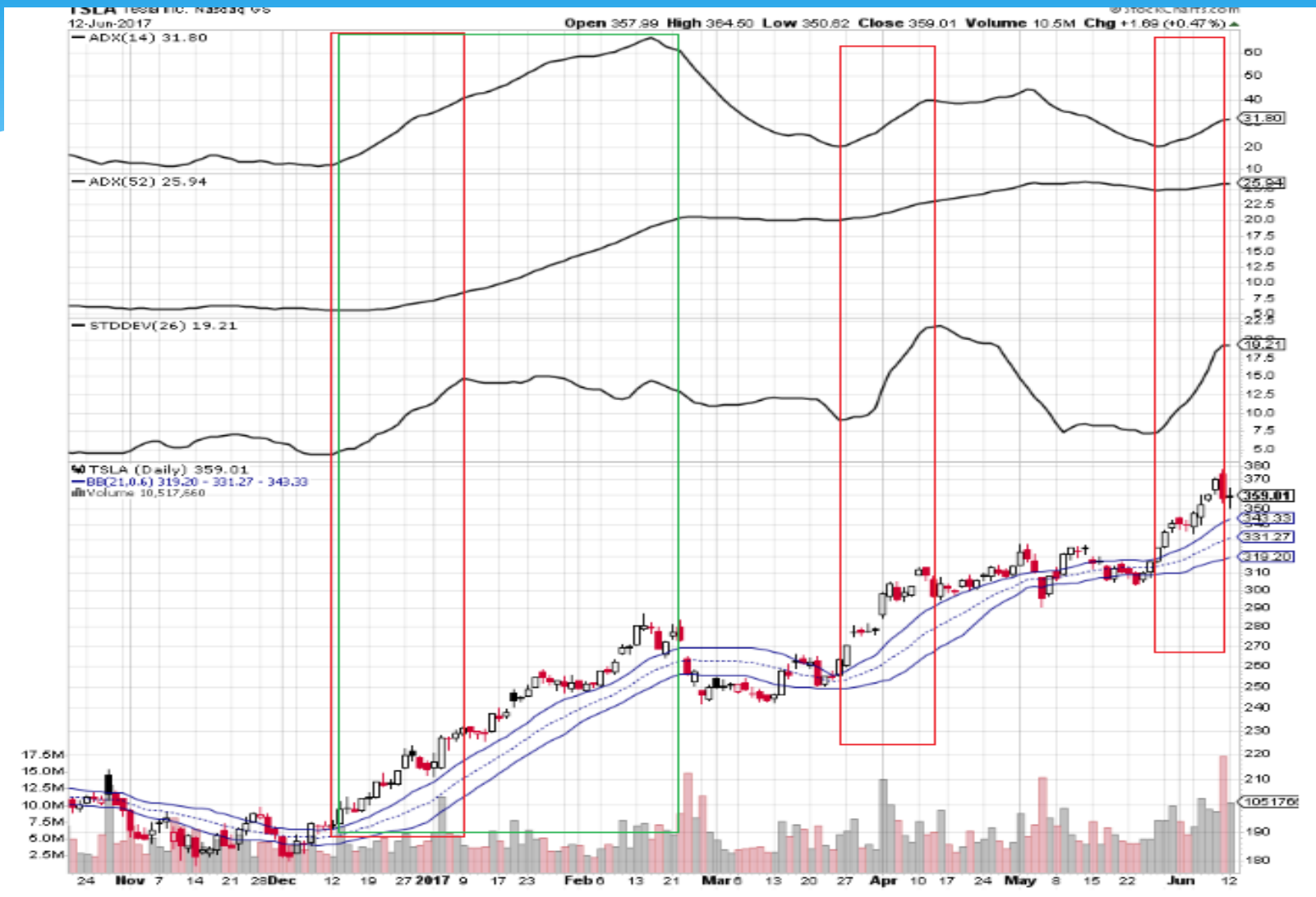


[https://www.googleadservices.com/pagead/adclk?sa=L&ai=CKru?nE8\\_W8kyMM-7c4Hn61TwA5hV8eN1uoH7rdsE3NkeF1](https://www.googleadservices.com/pagead/adclk?sa=L&ai=CKru?nE8_W8kyMM-7c4Hn61TwA5hV8eN1uoH7rdsE3NkeF1)

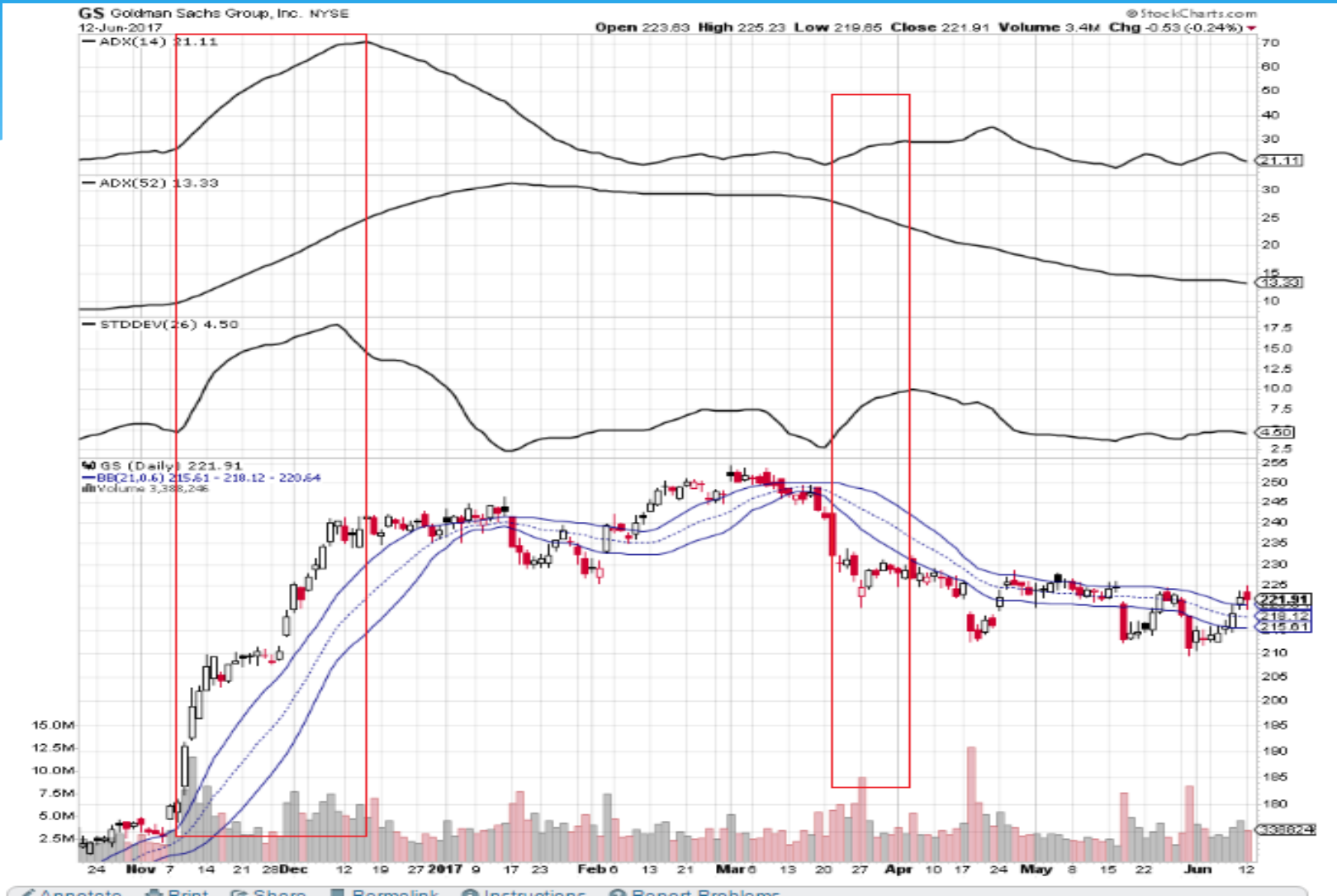
# アップル (日足)



# テスラ (日足)

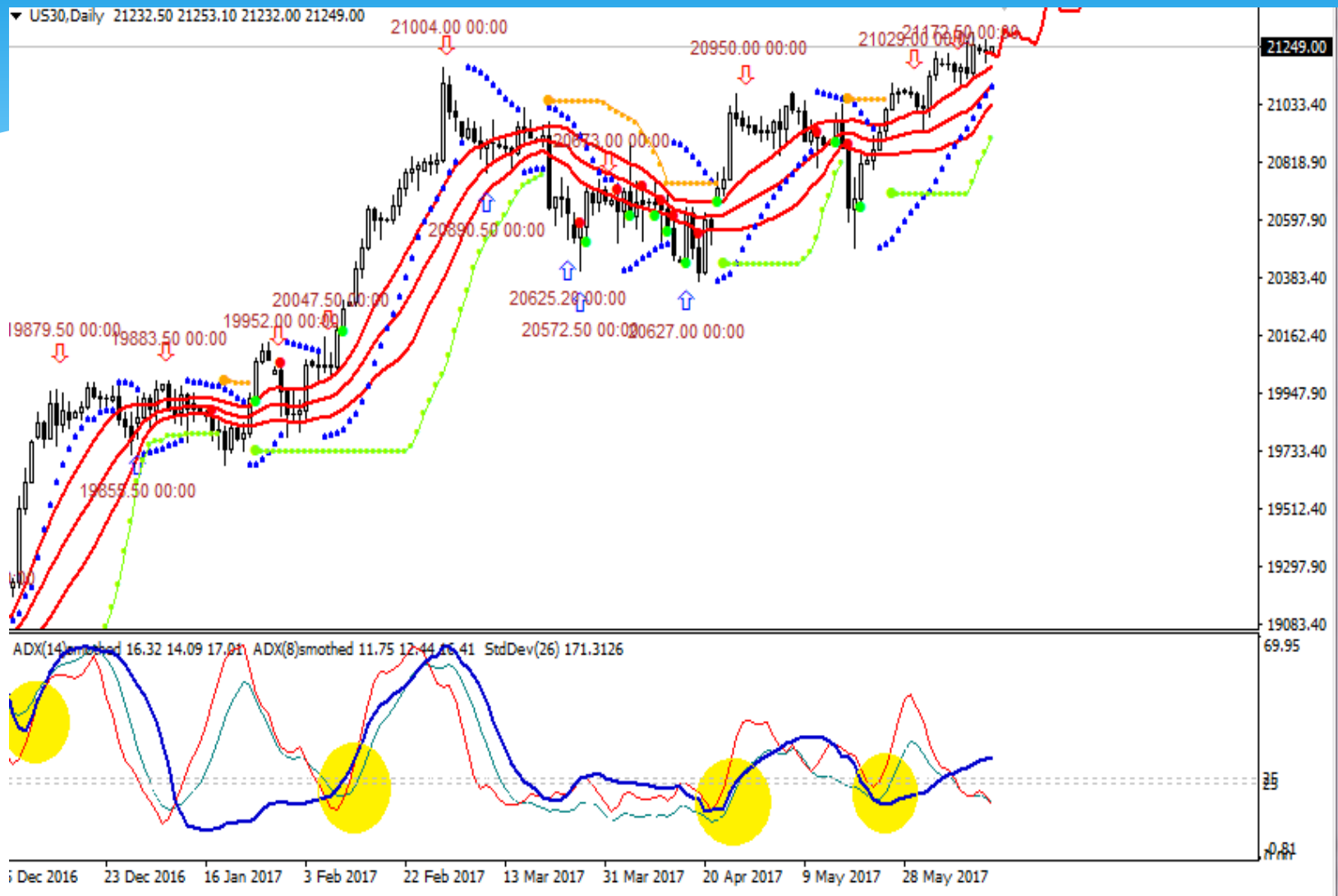


# ゴールドマンサックス (日足)

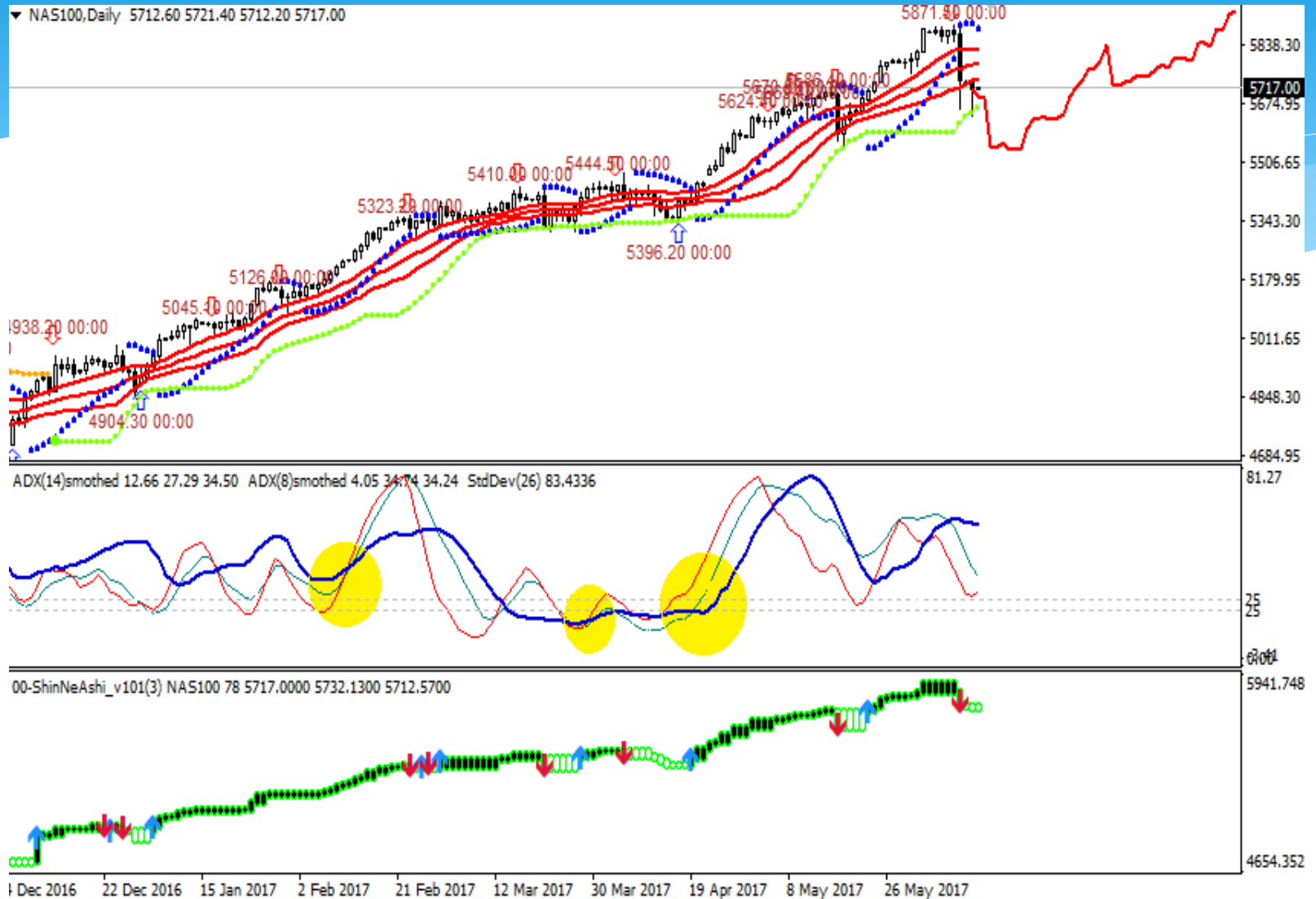




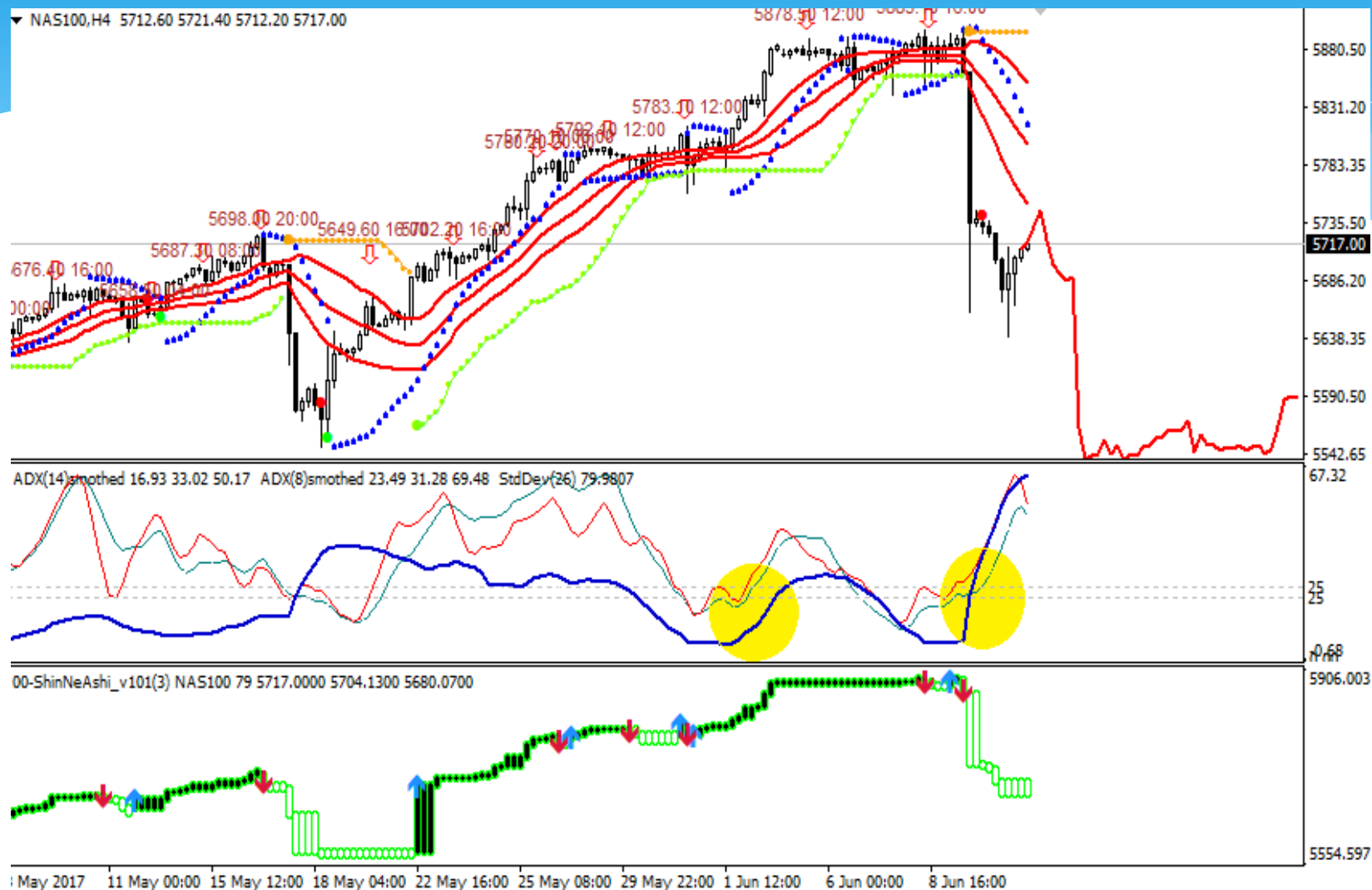
# NYダウCFD (日足)



# ナスダック100CFD (日足)



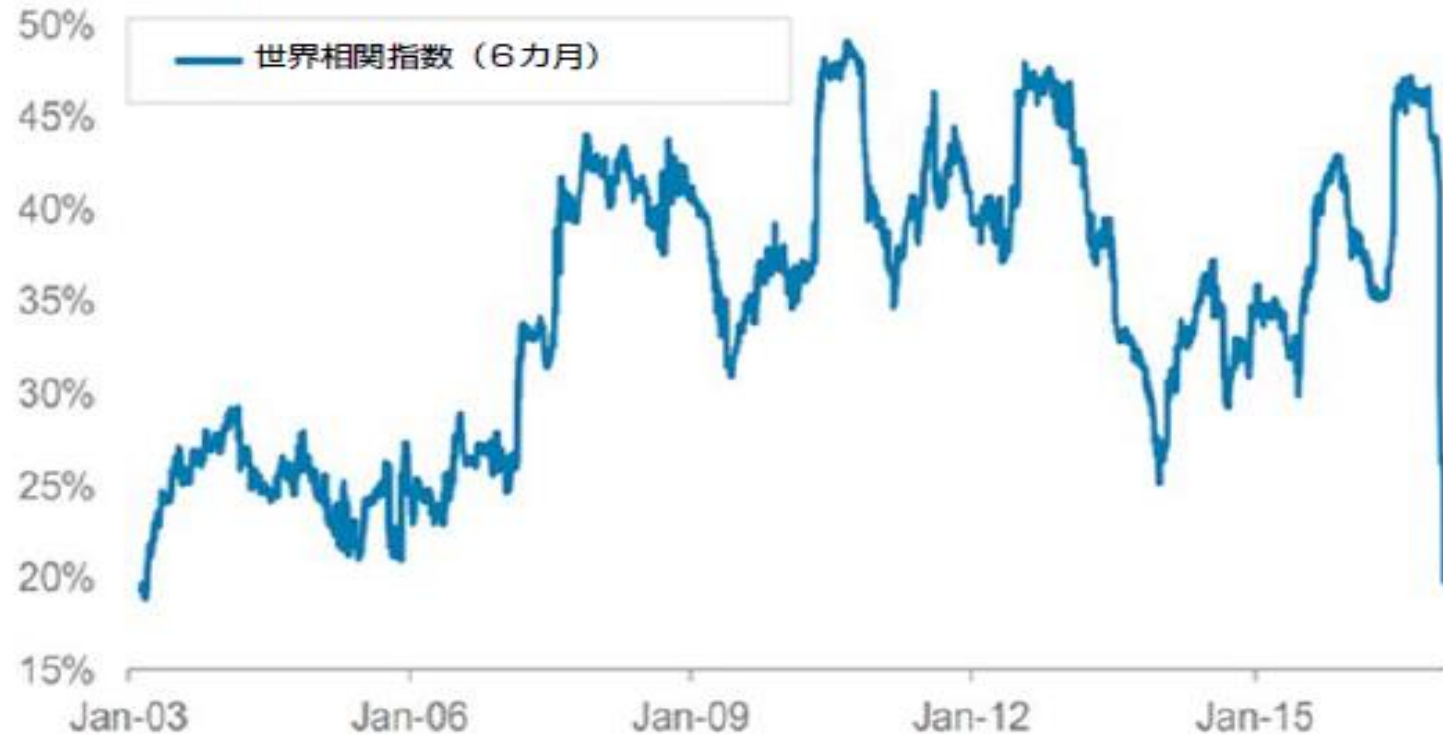
# ナスダック100CFD (4時間足)



# 資産間の相関性が急激に低下

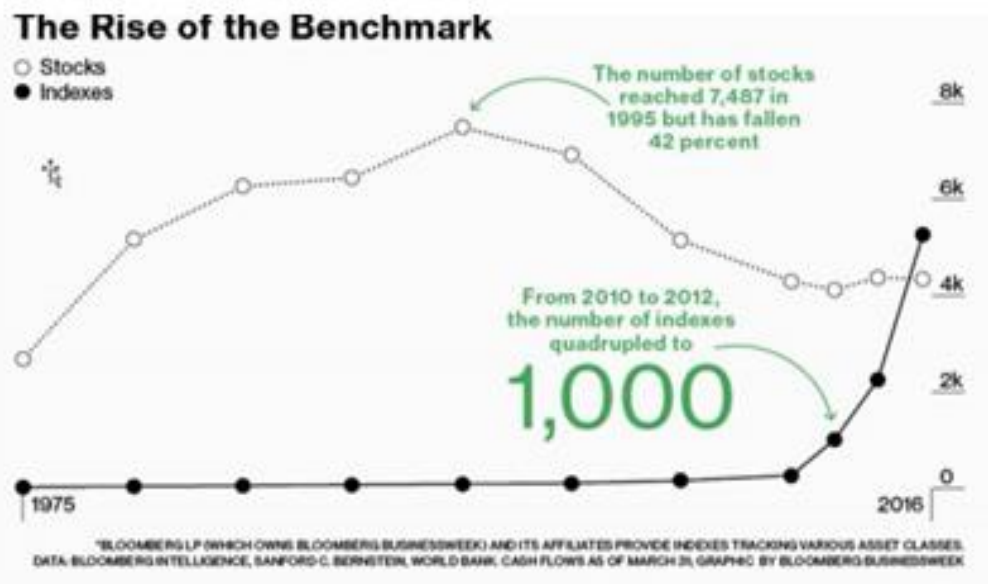
資産間の相関性が急激に低下 (2003 ~ 2017年1月)

## 6m Correlation



出所 : Bloomberg, Morgan Stanley Research

# インデックスバブル



上記のチャートをご覧ください。興味深い数値だと思いますが、点線はアメリカで上場している銘柄数です。1995年に7,487のピークをつけています。黒線はインデックスファンドの数です。指数の上場投信数が上場銘柄数を上回っています。まるで、バスケットのプレイヤーが観客よりも多い状態になっています。投機行動がかなり過熱していると言うサインだと思います。だからと言って今すぐに、株式市場が崩壊するということではありません。しかし、このサインは警告として受けて止めておくべきでしょう。あまりにも人工的に作られた指数が多く、実体から乖離していると思います。株式市場は機能しなくなるとは思いませんが、それでも、警戒すべきです。銘柄数よりも多いインデックスの上場は不自然ではないでしょうか？ いずれどこかで修正されるでしょう。

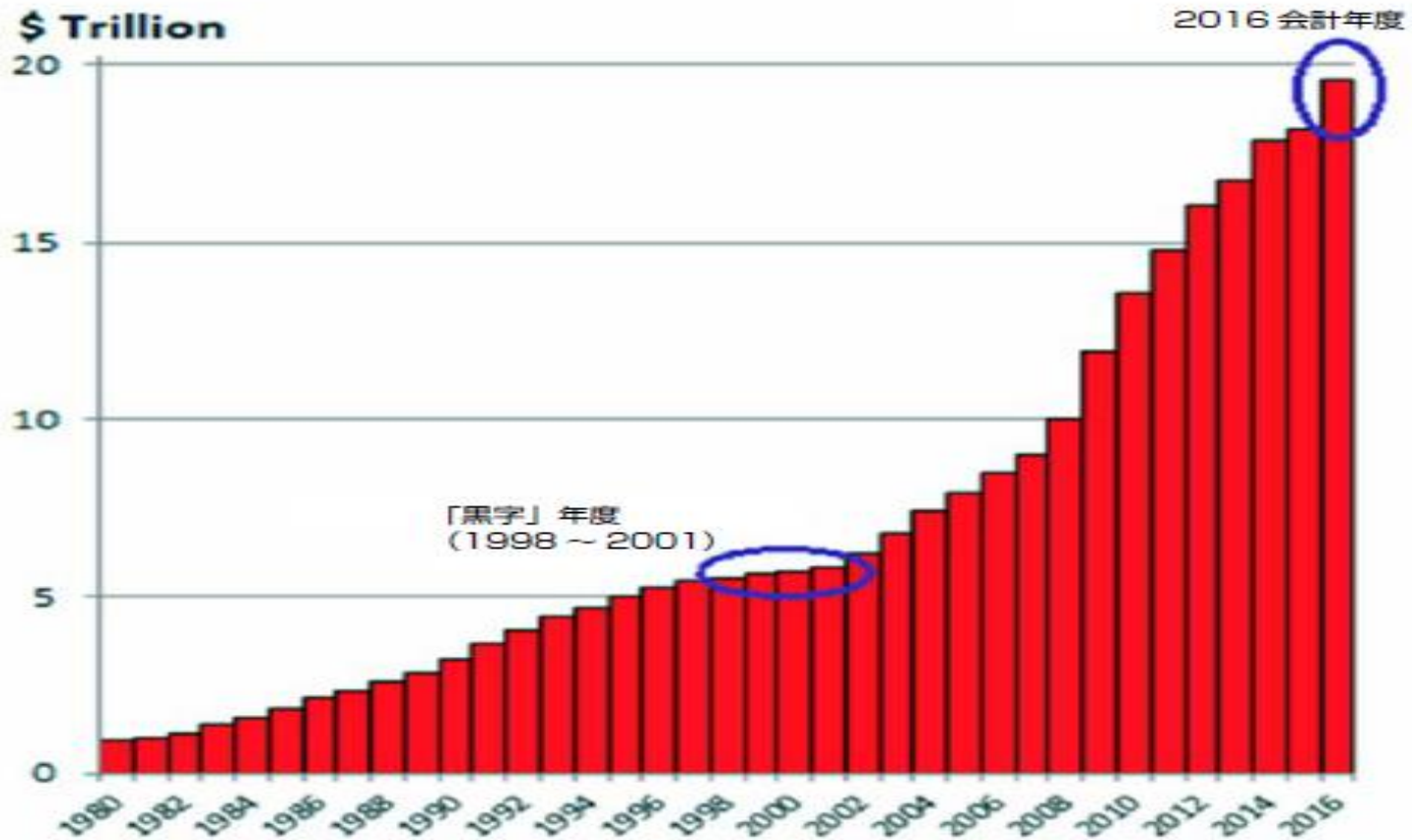
(出所：ラリー・ウィリアムズの週刊マーケット分析 (ラリーTV) 5月15日号 ラリー・ウィリアムズおよび国内代理店掲載許可をとって掲載)

# 米国の金融政策とNYダウ（週足）



# 米国の財務残高

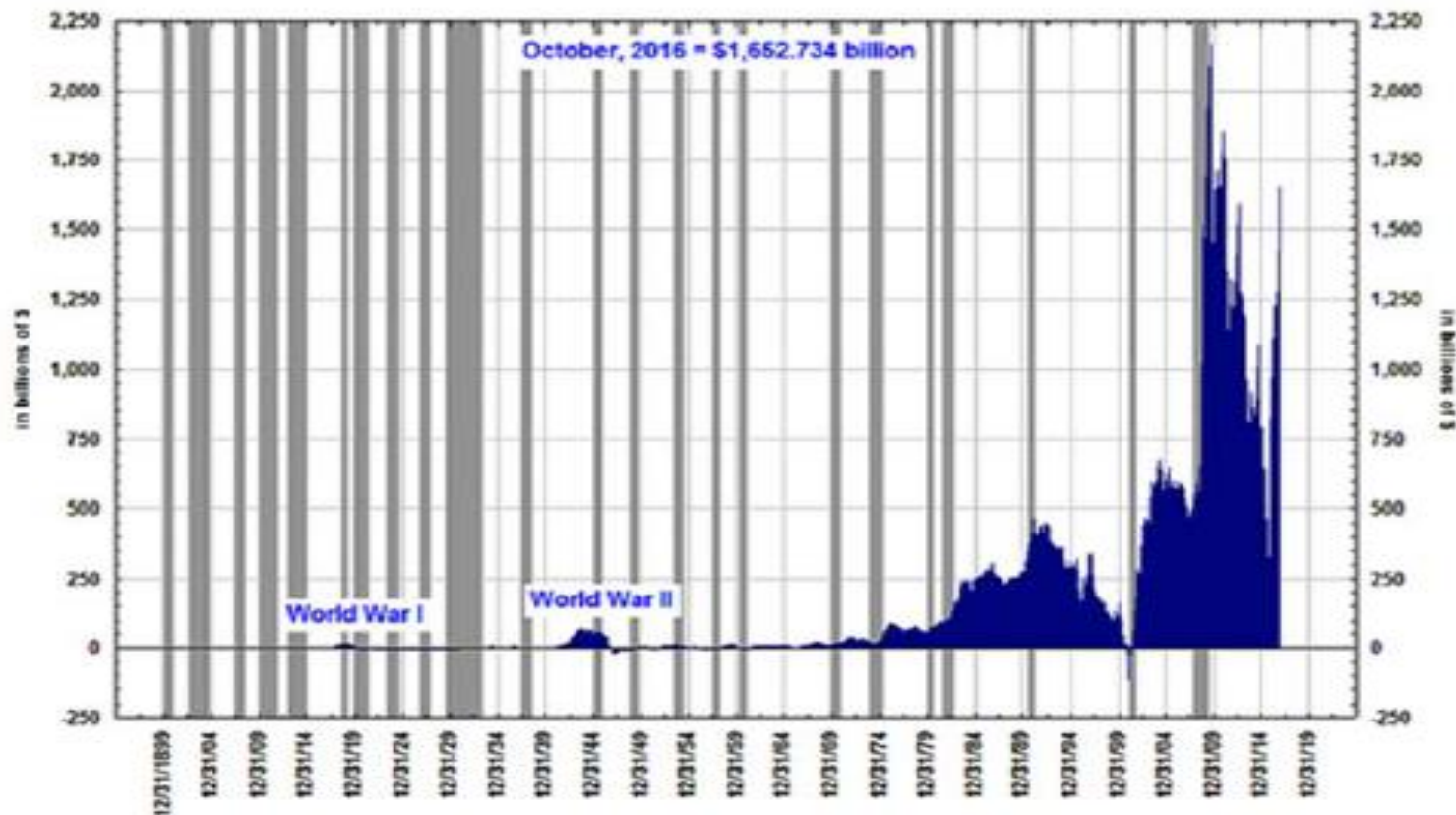
図7 米国の債務残高 (1980 ~ 2016年)



出所 : US Treasury Department, Federal Reserve, [www.wolfstreet.com](http://www.wolfstreet.com)

# 米国政府の債務増加

図8 米国政府の債務増加（1899～2016年）

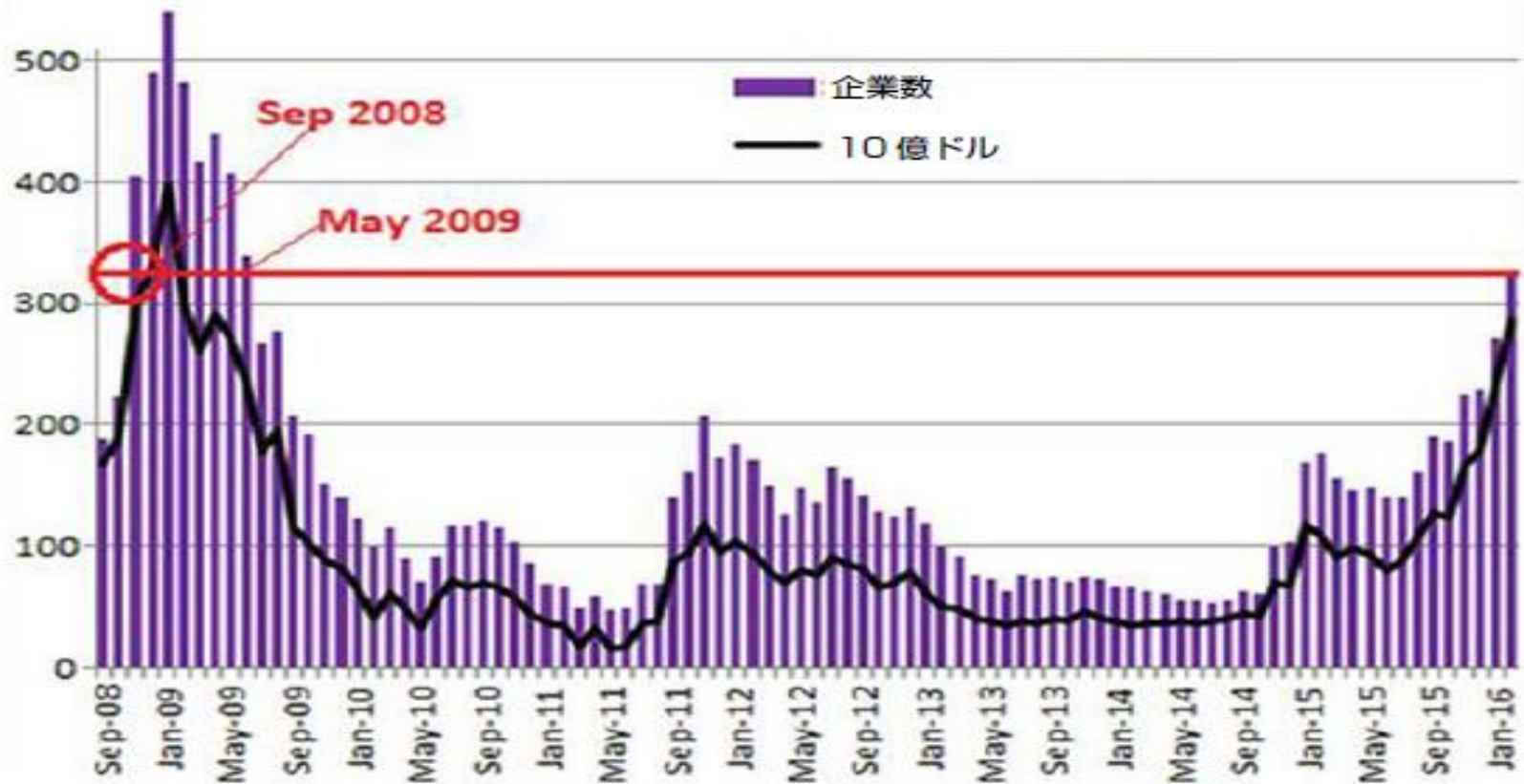


出所：Ron Griess, [www.thechartstore.com](http://www.thechartstore.com)



# 米国の不良債権全額とその企業数

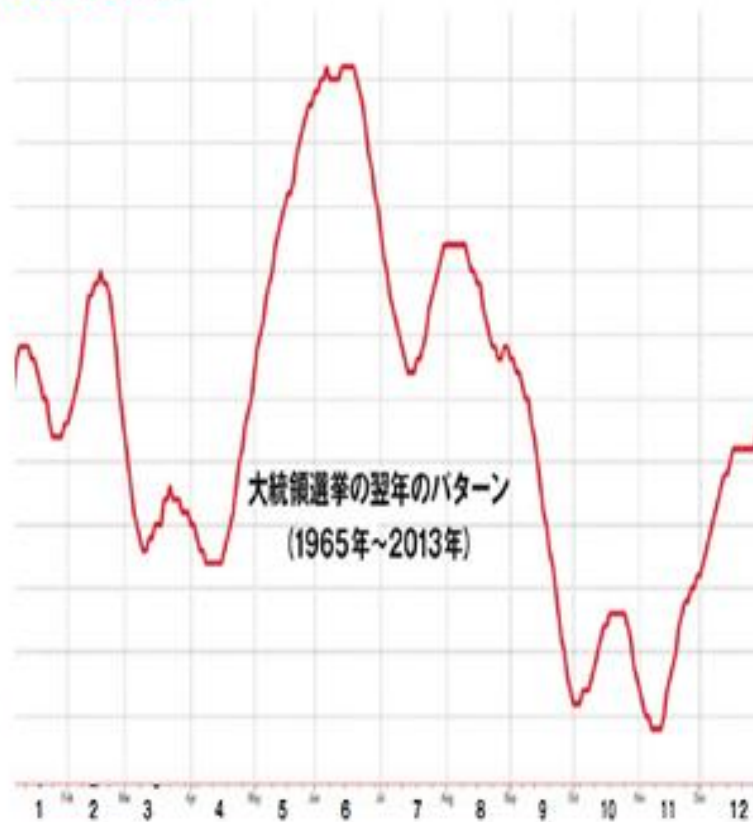
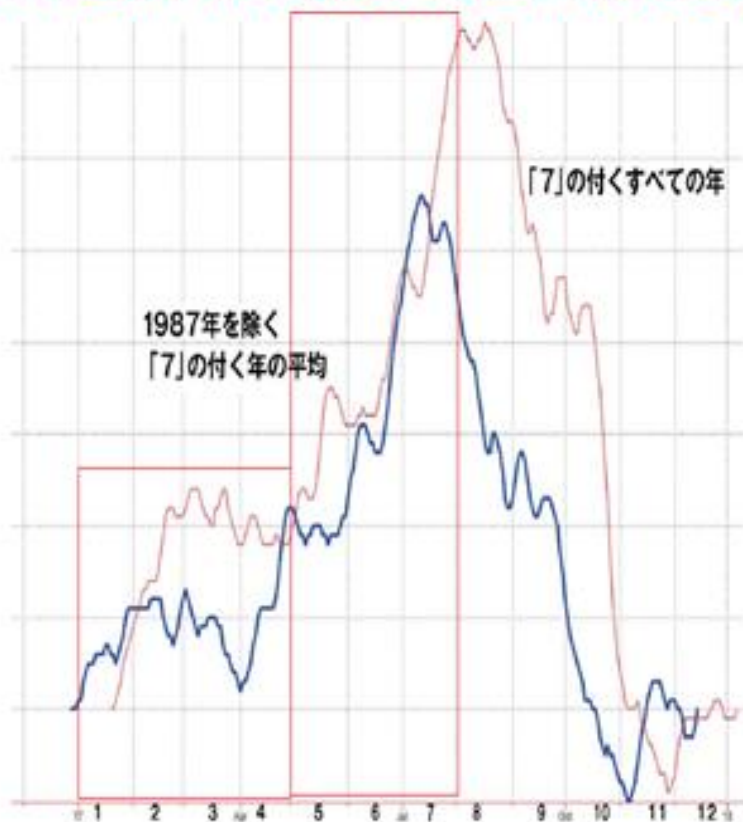
図9 米国の不良債権全額とその企業数 (2008 ~ 16年)



出所 : S&P Capital IQ, [www.wolfstreet.com](http://www.wolfstreet.com)

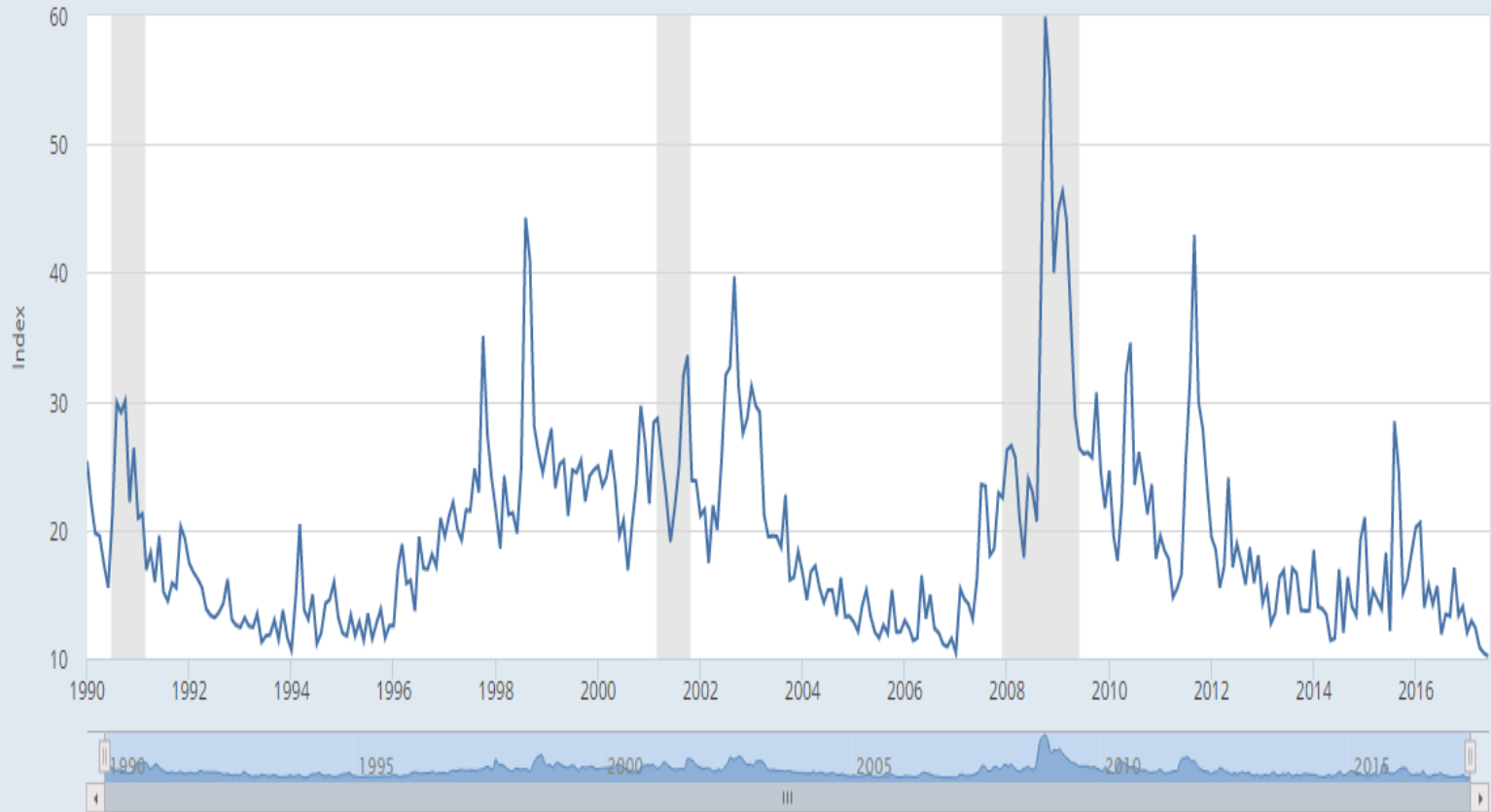
# 7の年と大統領選挙翌年の平均サイクル

「7」の付くすべての年の平均を赤線で、  
1987年を除く「7」の付く平均を青線でグラフ化している



出所：「ラリー・ウィリアムズのフォーキャスト2017」 ラリー・ウィリアムズおよび国内代理店  
掲載許可をとって掲載

FRED — CBOE Volatility Index: VIX®



Shaded areas indicate U.S. recessions

Source: Chicago Board Options Exchange

fred.stlouisfed.org